

園芸市場情報

平成26年6月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

6月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場はまちまちか！

果実類は、入荷量は前年並、相場は前年を上回るか！

花きは、入荷量は前年並、相場は前年を下回るか！

やっちゃば閑話 「花の流通と消費を考える」 P12

首都圏掲示板 P13

＜今月の3枚＞ ＊市場で見かけた「ちばエコ農産物」

東京都中央卸売市場大田市場には、年間を通じ、「ちばエコ農産物」（農薬・化学肥料を通常の2分の1に減らした農産物を県が認証）が出回っています。

市場からは、「野菜は鮮度やおいしさが命。販売戦略を立て、『ちばエコ農産物』の魅力を量販店のバイヤーなどにもっとアピールすべきでは」との意見をいただいています。

ちばエコマークを表示するだけでは、商品情報が販売店や消費者になかなか届きません。

首都圏マーケティングセンターでは、さまざまな機会を通じて、「ちばエコ農産物」の販路拡大を図る産地の取組を支援してまいります

6月20日に大田市場で実施する「千葉県野菜・果実夏の陣」では、「ちばエコ農産物」のPRを行う予定です。

(写真) 大田市場に出回る「ちばエコ農産物」(5月)



CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 5月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 6月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 特集「大玉すいか」
 06 だいこん、にんじん
 07 きゃべつ類、とうもろこし
 08 きゅうり、トマト
 09 メロン類、びわ

II 花き情報

- 10 5月の経過（販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過）
 6月の見通し（ヒマワリ、トルコギキョウ）

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 11 4月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 12 「花の流通と消費を考える」

V 首都圏掲示板

- 13 「夏の風物詩！千葉県産すいか続々入荷」
 「ひまわりを首都圏でPR～西岬ひまわりフェア始まる～」
 「今年の母の日、小売店では販売好調？」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 5月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	5月上中旬の気象データでは、平均気温は東日本では平年より高く、西日本では平年より低いところが多かった。降水量は北海道・奄美地方で平年を上回ったが、中国・近畿・四国地方では多くの場所で平年の50%以下となった。日照時間は関東地方及び西日本の多くの場所で平年を大幅に上回ったが、北海道・奄美地方では平年を下回った。
入荷量	東京都中央卸売市場への入荷野菜は、関東産が中心となった。 4月上中旬の低温から一転して、4月下旬は高温となり、日照・降水にも恵まれたことから、遅れ気味であった野菜の生育が大きく前進した。このため「にんじん」「キャベツ類」「ほうれんそう」等多くの品目で、4月下旬に入荷が集中し、5月上中旬は端境期となった。 結果、入荷量は5月上中旬で87,513 t（前年比93.0%）と前年よりかなり少なくなった。
相 場	価格は、4月中は品目ごとまちまちであったが、端境期となった5月上旬から一転して高値基調が続き、「キャベツ類」「ほうれんそう」「ねぎ」「きゅうり」「なす」等多くの品目で大幅な高値となった。 結果、価格は5月上中旬計で234円/kg（前年比119.4%）と前年に比べ大幅に高値となった。

果実類

入荷量	「かんきつ類」「りんご類」「すいか類」「メロン類」を中心に出回った。 「かんきつ類」「すいか類」は前年より入荷量が多かった一方で、不作で貯蔵量の少ない「りんご類」や面積が減少している「メロン類」は前年より少なかった。 結果として、入荷量は、5月上中旬計で、18,524 t（前年比100.0%）と前年並みだった。
相 場	施設の「もも」や「ぶどう類」が雪害の影響で少なかったことで、他の果実品目の引き合いも強まった。また、首都圏は好天に恵まれて「すいか類」の需要が高まった。 結果として、5月上中旬計で403円/kg（前年比110.5%）と前年よりかなり高くなった。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成26年4月下旬～5月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	4月下旬				5月上旬				5月中旬				5月上中計			
		開市日数		本年7日・前年6日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年7日・前年8日		開市日数		本年14日・前年15日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	49,540	113.1	229	105.9	45,304	95.6	234	115.3	42,209	90.4	235	123.9	87,513	93.0	234	119.4
だいこん	市場計	4,396	134.9	90	100.5	3,731	116.4	74	82.6	3,285	102.5	83	118.2	7,017	109.4	78	97.9
	千葉	3,524	139.1	91	102.9	3,014	118.0	74	81.9	2,669	101.1	80	114.5	5,683	109.4	77	96.1
にんじん	市場計	3,321	127.6	123	88.4	2,441	84.1	125	96.2	2,828	98.3	124	99.5	5,269	91.2	124	97.8
	千葉	43	265.8	129	117.1	60	96.2	164	98.8	397	85.4	157	110.6	458	86.6	158	109.1
はくさい	市場計	2,394	116.1	48	76.9	2,094	93.4	48	98.2	1,667	79.1	49	136.9	3,762	86.5	48	113.8
キャベツ類	市場計	7,128	119.8	92	83.3	6,188	86.6	79	113.5	5,127	81.4	95	152.6	11,316	84.2	87	130.3
	千葉	1,130	152.9	95	88.1	2,038	90.2	74	120.2	2,130	74.9	89	145.7	4,168	81.7	82	133.2
ほうれんそう	市場計	413	134.7	500	77.9	429	103.5	447	93.5	378	69.1	533	141.6	807	83.9	487	116.0
	千葉	51	137.9	435	83.2	35	113.2	416	99.4	28	83.2	430	197.9	64	97.6	422	134.6
ねぎ	市場計	1,332	109.4	258	98.9	1,207	95.8	327	117.2	1,139	97.7	338	127.1	2,346	96.7	332	121.9
	千葉	517	97.5	252	100.3	402	75.7	298	116.8	324	81.4	282	138.8	726	78.1	291	124.9
レタス類	市場計	2,380	109.7	212	87.3	3,158	115.0	143	85.5	2,213	88.3	137	102.5	5,371	102.2	141	93.0
	千葉	30	144.8	256	86.1	31	126.4	239	96.6	20	118.0	232	91.2	51	123.0	236	94.4
きゅうり	市場計	2,548	104.8	278	127.8	2,486	88.9	281	141.7	2,642	85.0	277	174.4	5,128	86.8	279	157.2
	千葉	417	140.1	265	131.2	341	104.8	260	137.0	341	90.2	264	178.5	681	97.0	262	156.6
なす	市場計	938	112.2	405	111.9	944	102.1	395	114.5	905	85.8	394	127.8	1,850	93.4	395	121.2
	千葉	22	96.4	387	108.8	25	85.8	369	107.6	34	83.4	350	112.9	59	84.4	358	110.6
トマト	市場計	2,877	99.9	357	112.7	3,233	105.5	326	113.7	3,104	93.7	311	113.1	6,337	99.4	319	113.5
	千葉	186	94.9	321	109.6	259	105.2	283	114.4	298	111.7	267	111.9	557	108.6	274	113.0
ピーマン	市場計	883	128.0	378	85.6	972	109.4	335	92.5	827	102.3	260	100.7	1,799	106.0	301	96.1
	千葉	1	154.7	739	106.5	2	101.0	510	124.6	3	164.7	378	137.0	5	128.6	436	124.3
さといも	市場計	153	84.2	279	161.6	97	65.5	345	165.3	80	61.8	378	161.8	177	63.8	360	163.4
	千葉	38	71.8	327	181.1	39	76.5	377	201.9	26	56.2	402	200.9	65	66.9	387	200.4
ばれいしょ類	市場計	3,891	116.3	142	148.1	3,195	79.5	138	143.5	3,307	105.1	129	124.7	6,502	90.8	133	134.3
たまねぎ	市場計	5,302	93.2	116	191.4	4,131	84.8	129	201.8	4,099	84.9	129	193.2	8,230	84.9	129	197.4
生しいたけ	市場計	186	114.7	892	95.9	170	104.8	900	92.2	145	88.4	938	108.5	315	96.6	918	99.7
かぼちゃ	市場計	849	99.9	219	148.4	814	88.2	239	145.3	698	80.2	253	147.7	1,512	84.4	246	146.3
さやえんどう	市場計	67	112.0	1,158	107.7	58	120.3	1,106	105.7	50	109.0	1,040	105.0	108	114.8	1,076	105.5
かんしょ	市場計	732	107.8	184	130.5	543	91.7	198	124.4	486	91.9	214	134.1	1,030	91.8	206	129.0
	千葉	417	102.2	174	130.2	307	86.7	194	130.2	302	87.1	208	138.7	609	86.9	201	134.4
かぶ	市場計	506	115.8	139	105.8	558	109.4	128	98.9	527	98.2	114	99.7	1,086	103.7	121	99.6
	千葉	407	115.2	143	106.3	450	110.3	130	97.5	425	99.3	114	98.5	874	104.7	122	98.3
ごぼう	市場計	219	71.6	442	202.4	195	79.4	430	170.1	228	85.1	397	158.7	423	82.4	412	164.0
	千葉	1	9.4	525	579.6	0	30.2	609	150.5	0	89.6	623	86.4	1	48.1	617	123.4
こまつ菜	市場計	419	151.7	290	71.0	403	124.8	231	81.7	376	102.3	214	117.4	779	112.9	223	97.2
	千葉	18	119.2	317	78.7	19	122.1	269	87.6	14	84.6	245	130.2	33	102.5	258	105.6
こねぎ	市場計	152	109.5	623	98.2	156	100.3	710	100.6	144	89.5	734	115.2	299	94.8	722	107.6
わけぎ	市場計	8	118.3	585	81.0	9	119.4	681	74.0	7	113.6	646	93.0	16	116.7	666	81.4
糸みつば	市場計	55	115.4	295	97.9	56	95.0	304	102.4	49	83.8	303	119.8	105	89.5	303	110.4
しゅんぎく	市場計	43	138.5	609	87.9	38	96.5	557	98.2	31	87.9	539	158.5	69	92.4	549	119.5
	千葉	14	159.2	665	92.7	12	105.6	618	105.1	9	93.9	617	178.2	21	100.2	617	129.3
にら	市場計	323	112.0	407	113.3	314	103.3	354	110.7	388	121.3	211	90.7	702	112.5	275	100.0
セルリー	市場計	349	120.9	291	81.9	333	99.8	277	81.6	253	78.5	327	121.6	586	89.4	298	98.0

品目	産地	4月下旬				5月上旬				5月中旬				5月上中計			
		開市日数		本年7日・前年6日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年7日・前年8日		開市日数		本年14日・前年15日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	101	202.4	252	84.2	104	148.6	220	83.3	112	68.5	197	129.0	216	92.5	208	111.8
ブロッコリー	市場計	601	123.2	414	90.2	653	100.7	431	102.2	748	75.4	349	134.1	1,401	85.4	387	119.5
サラダ菜	市場計	40	133.7	282	66.3	43	110.6	291	71.7	36	101.1	245	89.1	80	106.1	270	78.7
	千葉	16	116.4	258	66.5	17	92.2	264	76.7	16	91.9	217	95.7	33	92.1	241	84.0
パセリ	市場計	26	110.0	918	91.0	27	94.0	1,291	128.1	23	87.0	1,259	175.2	50	90.6	1,276	147.2
	千葉	13	94.0	900	92.2	16	91.9	1,226	129.8	17	87.7	1,183	197.8	32	89.7	1,204	158.0
チンゲンサイ	市場計	162	103.5	241	94.9	155	83.4	215	102.5	142	79.6	200	124.3	296	81.5	208	111.8
エンダイブ	市場計	9	137.3	518	69.7	10	120.9	409	66.0	8	102.9	357	83.8	18	111.9	385	73.6
ミニトマト	市場計	661	102.0	544	107.2	735	110.3	552	111.9	679	94.0	522	113.8	1,414	101.8	537	113.1
	千葉	59	104.7	578	105.3	58	90.2	602	114.4	68	105.6	527	108.1	125	97.9	561	110.8
とうもろこし	市場計	53	164.2	575	96.0	65	95.8	543	97.3	158	96.0	477	104.7	223	95.9	496	102.2
いんげん	市場計	122	121.1	860	94.8	115	93.2	886	104.1	119	86.6	854	114.8	234	89.7	869	109.5
そらまめ	市場計	319	118.3	477	91.4	388	134.1	458	88.9	387	106.5	388	96.3	775	118.7	423	93.5
えだまめ	市場計	30	97.8	1,188	104.0	42	95.4	1,330	115.3	57	93.1	1,333	133.2	100	94.1	1,332	125.0
やまといも	市場計	61	111.3	649	125.1	64	97.8	642	120.9	49	79.7	628	123.7	113	89.0	636	122.4
	千葉	40	119.5	623	119.3	44	103.1	617	116.0	31	76.7	602	118.9	74	90.3	611	117.6
根しょうが	市場計	146	106.2	684	140.7	150	89.0	695	142.9	148	88.6	720	135.3	298	88.8	707	139.0
マッシュルーム	市場計	38	141.5	855	100.6	39	128.9	840	97.5	34	116.2	835	100.9	73	122.7	838	99.1
外国産	—	1,783	108.4	254	114.7	1,628	95.2	255	114.8	1,418	92.5	253	123.7	3,046	93.9	254	118.8
果実総量	—	10,308	111.9	405	112.5	9,377	102.6	412	109.7	9,147	97.5	394	111.3	18,524	100.0	403	110.5
みかん類	市場計	12	45.8	1,398	149.1	21	76.5	1,705	106.7	43	92.7	1,524	113.6	64	86.7	1,583	110.2
(ハウスみかん)	市場計	7	64.2	2,325	131.4	17	70.6	2,006	114.5	40	92.3	1,609	114.0	57	84.5	1,728	112.6
かんきつ類	市場計	3,667	121.2	263	114.6	2,484	105.8	272	118.9	2,266	105.6	261	120.0	4,750	105.7	267	119.4
りんご類	市場計	1,949	106.1	321	132.5	1,509	90.0	337	131.8	1,414	100.9	354	124.6	2,923	95.0	345	128.5
(ふじ)	市場計	1,567	102.6	320	131.9	1,202	88.7	338	131.7	1,108	102.6	357	121.8	2,310	94.9	347	127.3
いちご類	市場計	1,261	108.9	969	111.3	981	98.5	908	106.7	794	98.2	796	108.7	1,775	98.3	858	107.5
(とちおとめ)	市場計	691	118.5	931	116.2	564	93.4	856	108.0	492	94.1	736	110.8	1,056	93.7	800	109.2
(あまおう)	市場計	191	96.2	983	105.4	128	133.6	930	97.8	65	112.3	810	95.2	193	125.5	889	97.4
メロン類	市場計	551	98.4	666	118.1	946	90.5	562	118.3	1,063	85.5	508	119.9	2,009	87.8	534	119.3
千葉	千葉	7	139.7	1,145	112.9	10	88.2	733	111.5	20	133.1	504	102.0	30	113.7	581	102.9
(アールスメロン)	市場計	98	94.6	1,199	128.8	107	80.7	1,095	127.7	103	82.8	930	117.0	210	81.7	1,014	122.6
千葉	千葉	7	139.7	1,145	112.9	6	95.0	915	107.6	7	159.9	766	90.1	13	121.6	835	98.2
すいか類	市場計	1,306	124.7	271	102.8	1,652	118.7	266	105.7	1,973	98.6	265	110.1	3,625	106.9	265	108.3
千葉	千葉	6	500.5	416	151.3	38	80.6	357	120.5	192	132.4	286	104.7	230	119.8	298	106.8
(大玉すいか)	市場計	1,112	128.6	245	101.0	1,401	122.5	245	106.8	1,577	94.0	241	109.1	2,979	105.6	242	108.3
千葉	千葉	-	-	-	-	7	30.9	222	97.2	129	147.8	249	106.8	129	122.6	248	106.7
(こだますいか)	市場計	194	106.2	419	115.3	251	101.0	386	108.5	395	122.6	361	104.7	646	113.2	371	106.0
千葉	千葉	6	-	416	-	30	133.0	390	106.1	63	109.1	363	108.5	30	115.9	372	108.1
びわ	市場計	36	106.2	1,985	107.4	39	86.8	1,705	101.0	60	129.7	1,454	94.3	99	108.5	1,553	96.2
千葉	千葉	0	70.3	2,910	104.8	2	100.9	2,787	112.8	5	89.5	2,290	107.7	5	92.4	2,425	109.6
外国産	—	1,875	99.5	224	112.2	2,100	103.8	223	110.7	1,833	93.2	236	104.9	3,933	98.6	229	107.5

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 6月の見通し

野菜類

関東産に加え、長野県等の高原物、東北・北海道からの入荷が増加します。

入荷量は、乾燥等の影響から、多くの品目で平年を下回りますが、少なかった前年を上回る見込みです。関東の一部地域では2月の降雪によるハウス倒壊等の影響が残り、「きゅうり」「トマト」等は前年を下回る見込みです。

価格は、「きゅうり」、「トマト」は前年を上回りますが、一方で、豊作の「トウモロコシ」、引き合いの弱い「ダイコン」は前年を下回るなど、まちまちとなる見込みです。

果実類

「すいか類」「メロン類」を中心に、「びわ」「りんご類」「デラウェア」など多くの品目が出回ります。

入荷量は、本県から出荷のある「メロン類」「大玉すいか」「びわ」は前年並となる見込みで、全体では前年並となる見込みです。

価格は、「メロン類」「大玉すいか」は前年をやや下回るものの平年より高く、「びわ」は前年並となる見込みで、全体では前年を上回る見込みです。

()は単位

品目	入 荷 量				単 価				千葉県産実績	
	見込み (t)	前年実績 (t)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (t)	見込み (円/kg)	前年実績 (円/kg)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (円/kg)	前年入荷量 (t)	前年占有率 (%)
だいこん	7,850	7,634	102.8	8,162	75	84	89.3	83	1,838	24.1%
にんじん	6,400	6,453	99.2	6,517	140	139	100.7	137	4,983	77.2%
キャベツ類	14,700	13,580	108.2	15,678	70	81	86.4	65	6,187	45.6%
ほうれんそう	1,310	1,286	101.9	1,491	420	443	94.8	413	79	6.2%
レタス類	8,650	8,673	99.7	8,112	115	112	102.7	123	44	0.5%
ねぎ	3,950	3,885	101.7	4,261	330	367	89.9	321	808	20.8%
きゅうり	5,900	6,853	86.1	7,309	280	270	103.7	236	629	9.2%
トマト	8,750	9,286	94.2	8,934	270	249	108.4	275	1,191	12.8%
ばれいしょ類	8,900	8,633	103.1	8,653	110	103	106.8	142	590	6.8%
とうもろこし	3,950	3,737	105.7	3,404	260	279	93.2	269	534	14.3%
えだまめ	740	711	104.1	804	950	994	95.6	906	269	37.9%
大玉すいか	6,600	6,433	102.6	6,954	195	203	96.1	187	3,151	49.0%
メロン類	4,700	4,672	100.6	5,826	380	399	95.2	352	532	11.4%
びわ	310	301	103.0	286	900	875	102.9	934	42	13.9%

前年比10%以上

前年比10%以下

3 品目別生産出荷概況

大玉すいか

主要産地の大玉すいかの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	25年6月入荷量	25年6月シェア率
千葉	3,151 t	49.0 %
熊本	1,851 t	28.8 %
鳥取	611 t	9.5 %
新潟	81 t	1.3 %
山形	0 t	0.00 %

6月入荷予測	6,600t(前年比102.6%、平年比94.9%)
6月価格予測	195円(前年比96.1%、平年比104.3%)
6月市況予測	上旬：↘(弱保合) 中旬：⇔(保合) 下旬：⇔(保合)

今後の競合産地の動向は？

大玉すいかの東京都中央卸売市場への入荷は主に4月から8月で、千葉県産の年間入荷量は、熊本に次いで、全国第2位です。

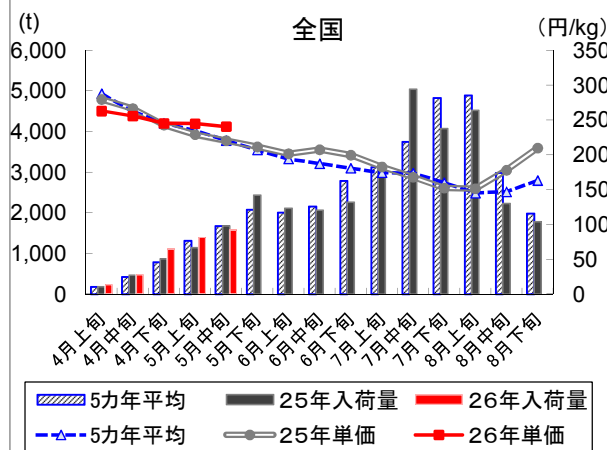
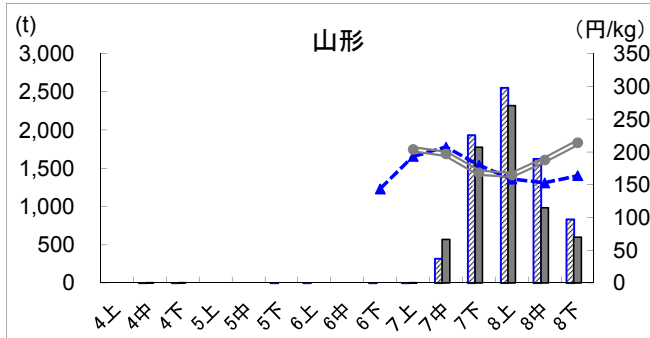
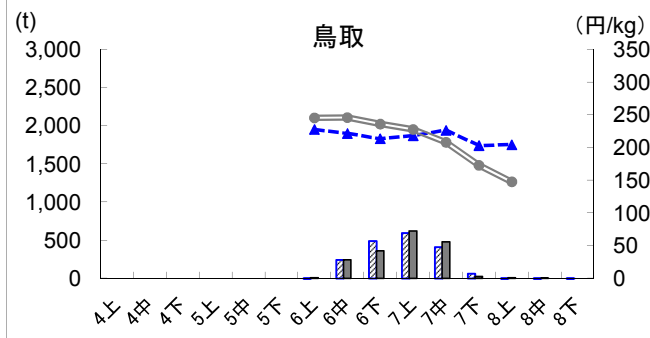
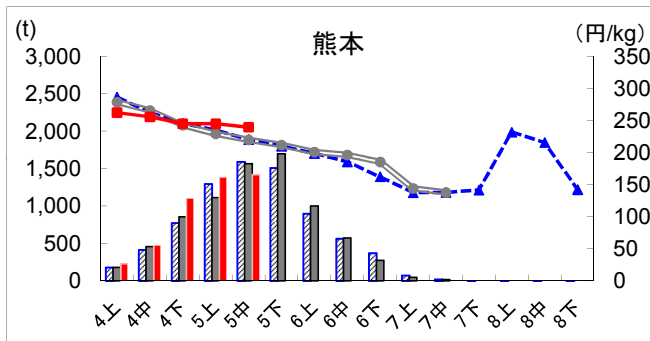
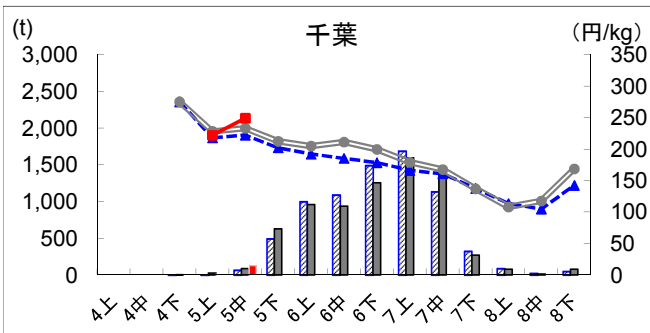
産地リレーは、5月上旬から下旬に入荷ピークを迎える熊本、6月下旬から7月中旬までがピークとなる千葉、7月下旬から入荷量の増加する山形の順で行われます。また、6月中旬から入荷する鳥取も千葉の競合産地となります。

消費の面では、5月は首都圏の気温が平年よりも高く、夏物商材であるすいかの引き合いが強まっています。

千葉産は5月上旬からハウス物が出回っており、6月中旬からピークとなる見込みです。

熊本産は5月中旬にピークを迎えており、6月中旬までまとまった数量が入荷する見込みです。

鳥取産は6月中旬から入荷予定で、6月下旬～7月上旬にピークとなる見込みです。

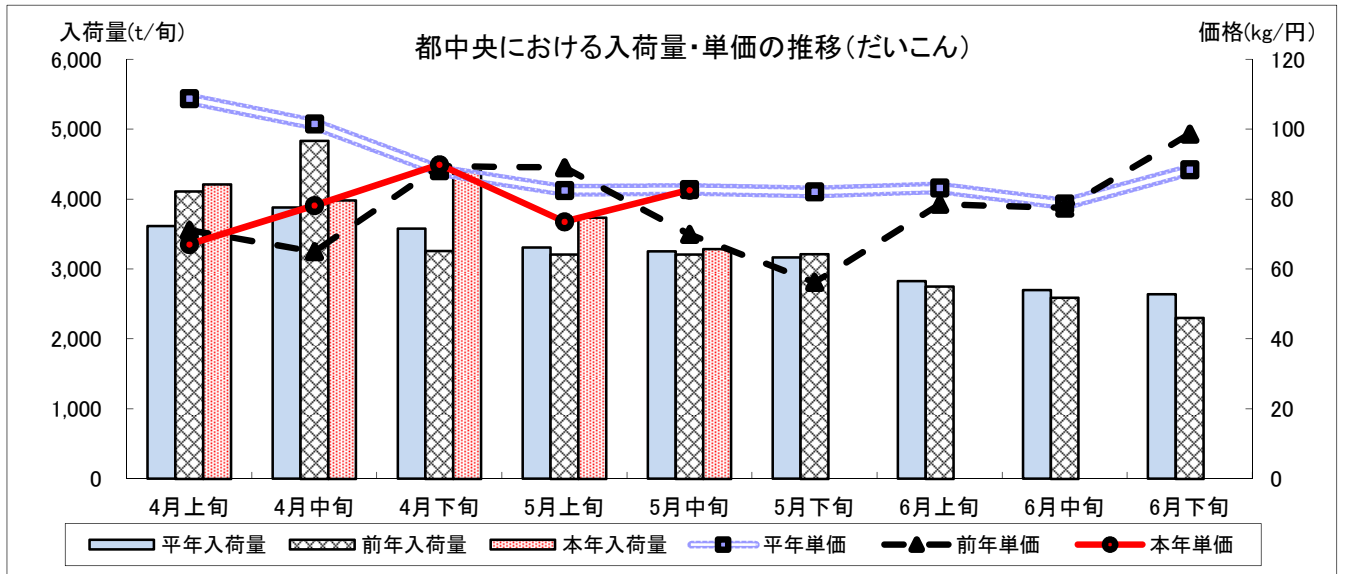


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

だいこん

6月の見通し

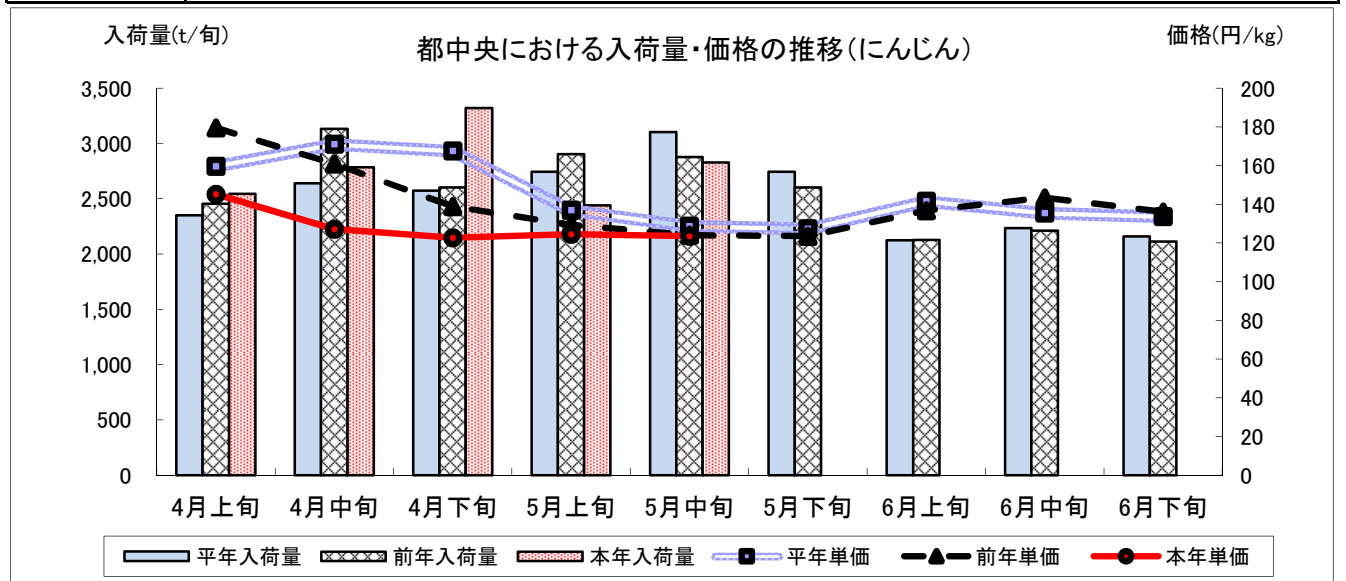
入荷予測	7,850t(前年比102.8%、平年比96.2%)
価格予測	75円(前年比89.3%、平年比90.4%)
市況予測※	上旬：⇨(保合) 中旬：⇨(弱保合) 下旬：⇨(保合)
主産地の概況	青森県：3月中旬の降雪による播種遅れ及び生育遅延が認められる。出荷量は、少なかった前年並みで、平年を下回る見込み。 千葉県：一部ほ場では2月の降雪の影響も残り生育が遅れているが、全体の収量への影響は小さい見込み。6月の出荷量は少なかった前年を大幅に上回り、平年並の見込み。



にんじん

6月の見通し

入荷予測	6,400t(前年比99.2%、平年比98.2%)
価格予測	140円(前年比100.7%、平年比102.2%)
市況予測※	上旬：⇨(強保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	千葉県：ほぼ平年並の生育。病害虫の発生は少ない。6月の出荷量は前年並の見込み。 埼玉県：2月の降雪による生育遅延がまだ認められる。乾燥等の影響でやや小ぶり。出荷量は少なかった前年並で、平年を下回る見込み。



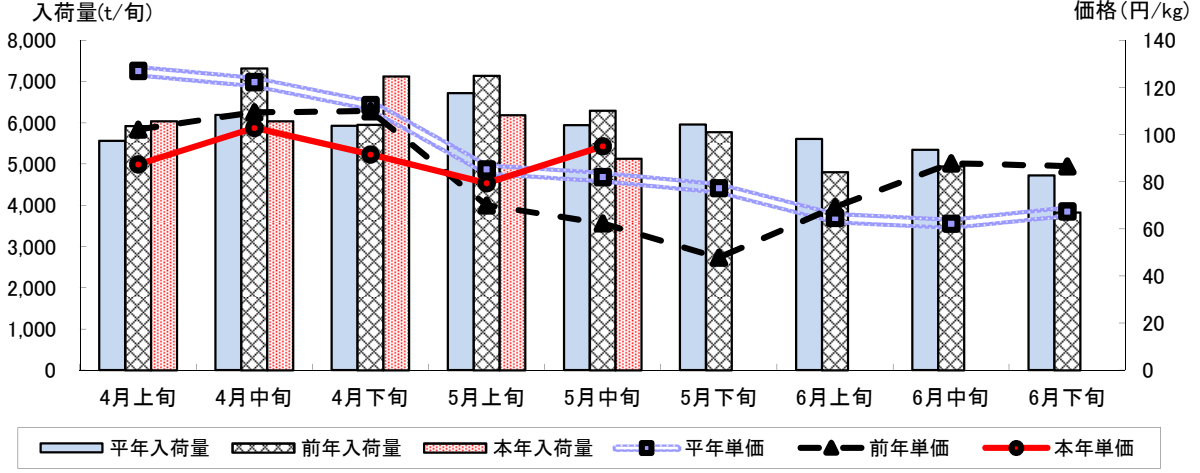
資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。
※：市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

キャベツ類

6月の見通し

入荷予測	14,700t(前年比108.2%、平年比93.8%)
価格予測	70円(前年比86.4%、平年比107.7%)
市況予測※	上旬：⇨(保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	千葉県; 降水量が少ないことから、生育はやや遅れ気味だが、収量への影響は小さい見込み。品質は良好。6月の出荷量は少なかった前年をかなり上回るが、平年並の見込み。
	茨城県; 降雪の影響で、一部ほ場で定植遅れが発生している。生育は降水量が少ないことから小玉傾向が懸念される。6月の出荷量は少なかった前年並みの見込み。

都中央における入荷量・価格の推移(キャベツ類)

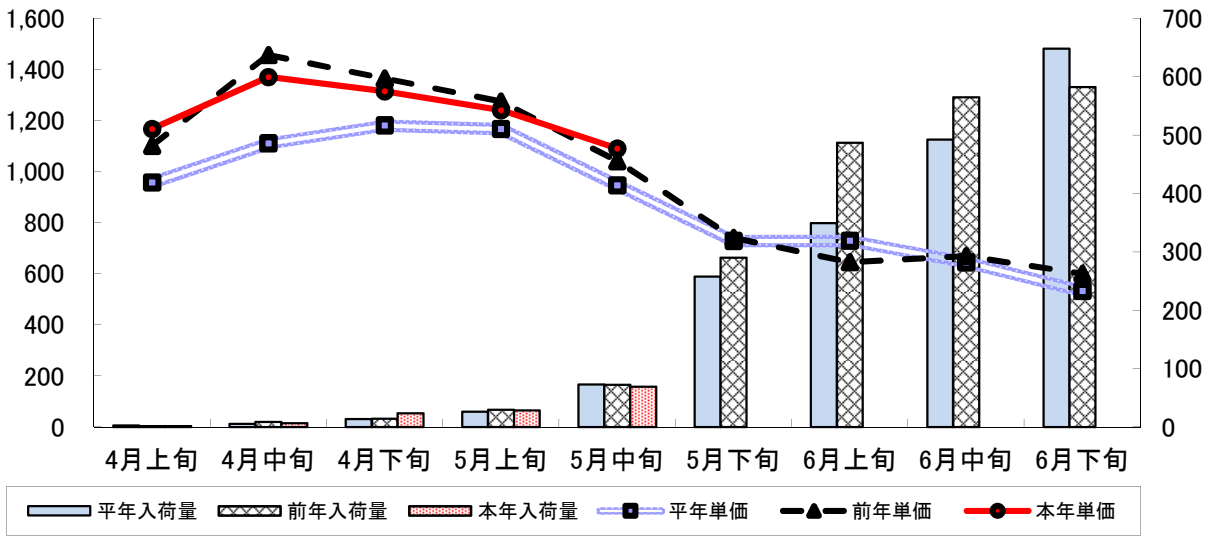


とうもろこし

6月の見通し

入荷予測	3,950t(前年比105.7%、平年比116.0%)
価格予測	260円(前年比93.2%、平年比96.7%)
市況予測※	上旬：⇨(保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(弱保合)
主産地の概況	山梨県; 2月の降雪で播き直し、播種遅れ等生じたが、生育は順調。出荷量は少なかった前年を大幅に上回る見込み。
	千葉県; 6月はハウス・トンネル栽培が主体。日照時間に恵まれ、生育は順調。目立った病害虫の発生もなく、6月の出荷量は、前進気味で多かった前年をやや下回り、平年並の見込み。
	茨城県; 4月の晩霜で一部ほ場で植え直し等が見られたが、生育は概ね順調。6月の出荷量は前年及び平年並の見込み。

都中央における入荷量・価格の推移(とうもろこし)

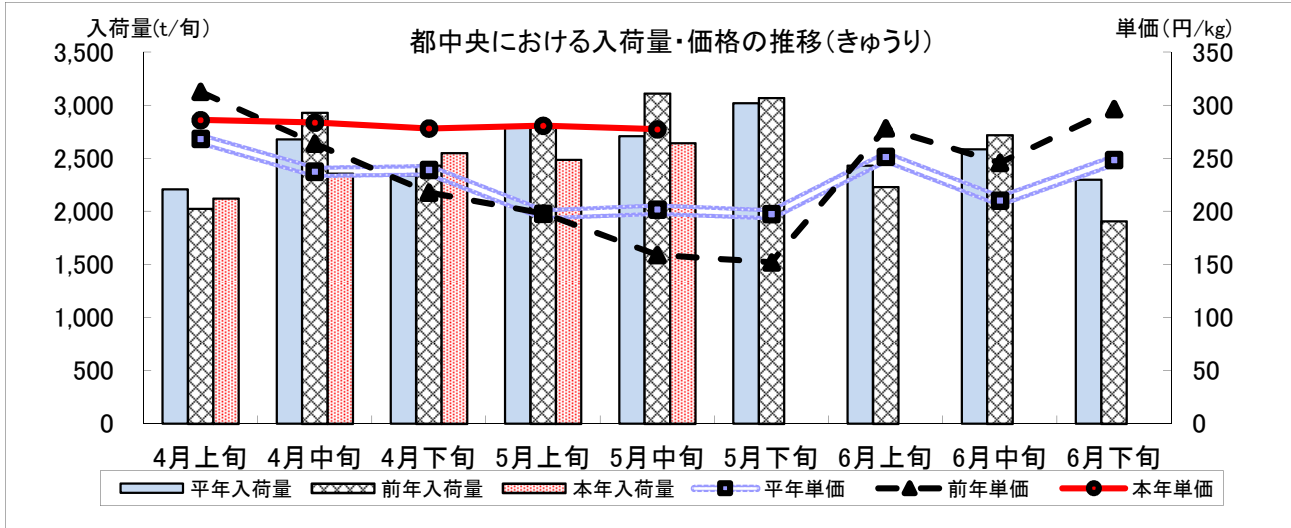


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。
 ※: 市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

きゅうり

6月の見通し

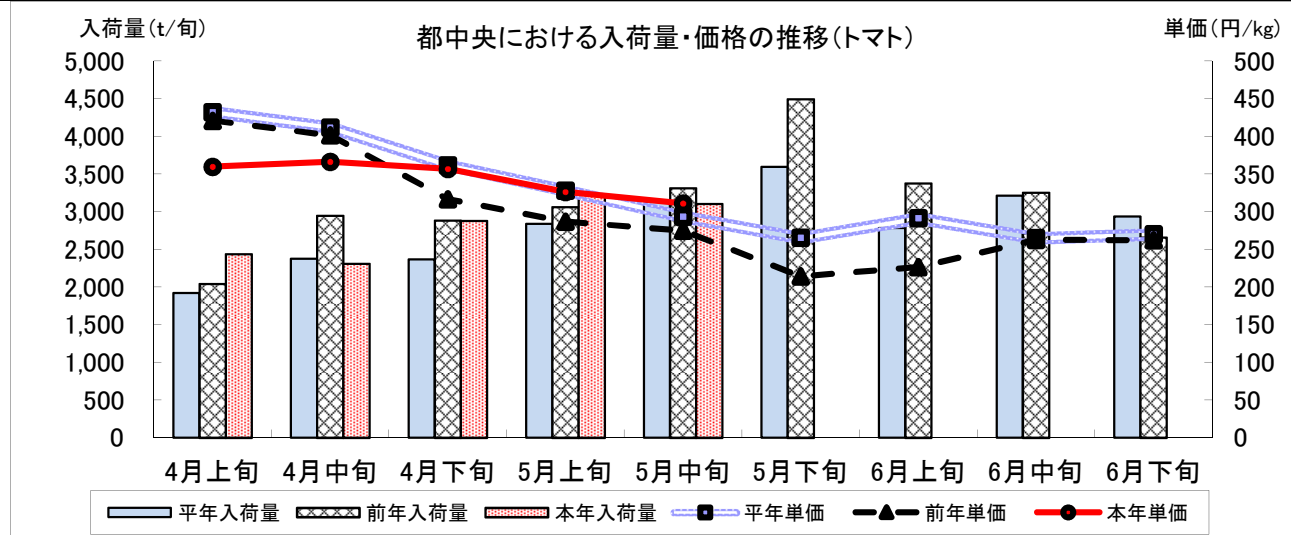
入荷予測	5,900t(前年比86.1%、平年比80.7%)
価格予測	280円(前年比103.7%、平年比118.6%)
市況予測※	上旬：↘(弱保合) 中旬：⇔(保合) 下旬：↗(強保合)
主産地の概況	埼玉県;2月の降雪でハウスが多数倒壊。生育中のハウスでは病害虫の発生が見られる。出荷量については前年及び平年を大幅に下回る見込み。
	群馬県;2月の降雪でハウスが多数倒壊。生育中のハウスでも病害虫の発生が見られ、生育はやや不良。出荷量は前年及び平年をかなり下回る見込み。
	千葉県;生育は順調。目立った病害虫の発生もなく、出荷量は前年及び平年並みの見込み。



トマト

6月の見通し

入荷予測	8,750t(前年比94.2%、平年比97.9%)
価格予測	270円(前年比108.4%、平年比98.2%)
市況予測※	上旬：↘(弱保合) 中旬：⇔(保合) 下旬：↗(強保合)
主産地の概況	栃木県;生育は順調、病害虫の発生も無く、品質も良好。6月の出荷量は多かった前年並で、平年を上回る見込み。
	群馬県;2月の降雪により、ハウスが多数倒壊。生育中のハウスでは病害虫も少なく、品質は良好。出荷量は前年及び平年を大幅に下回る見込み。
	千葉県;生育は概ね順調。一部で病害が見られるが、全体の収量には影響しない見込み。6月の出荷量は前年並の見込み。

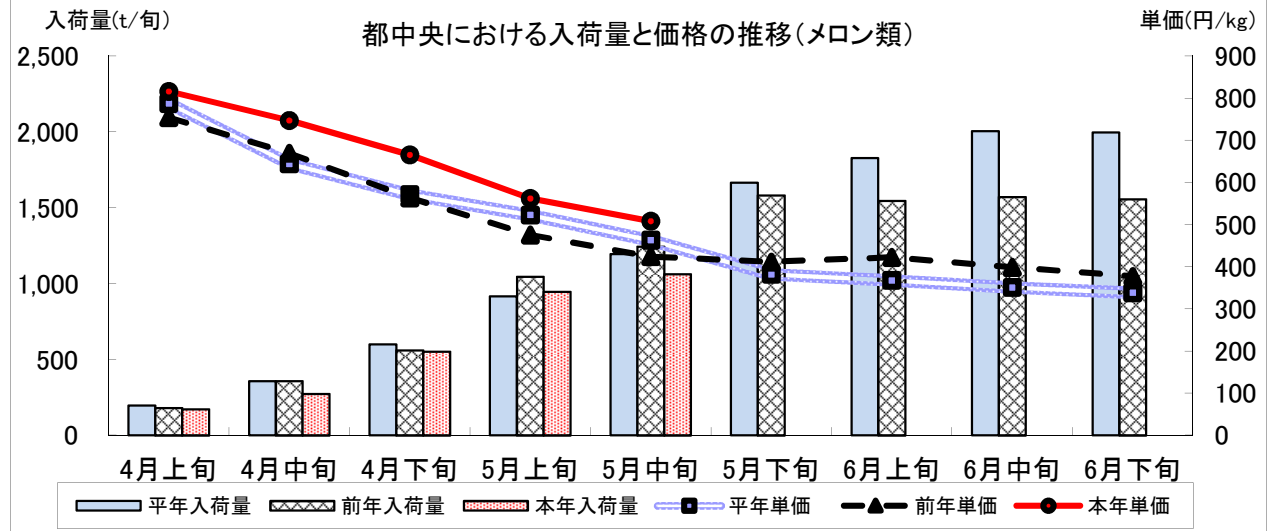


資料は東京資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。
 ※:市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

メロン類

6月の見通し

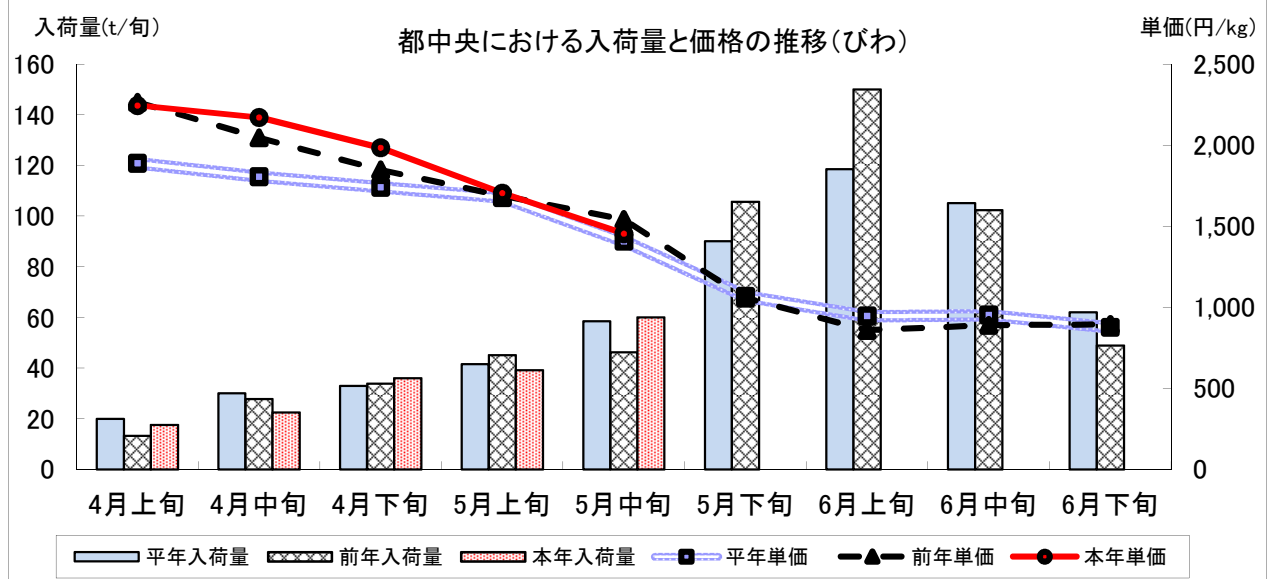
入荷予測	4,700t(前年比100.6%、平年比80.7%)
価格予測	380円(前年比95.2%、平年比108.0%)
市況予測※	上旬：↘(弱保合) 中旬：⇔(保合) 下旬：⇔(保合)
主産地の概況	千葉県；タカミ、アムス主体。生育は順調で、6月上旬から出荷見込みで、下旬以降ピークとなる。6月の出荷量は前年をやや上回る見込み。
	茨城県；一部地域で作付面積が減少している。主力のアンデス、クインシーは、5月下旬よりピークとなり、6月中旬以降終了に向かう。6月の出荷量は前年をやや下回る見込み。



びわ

6月の見通し

入荷予測	310t(前年比103.0%、平年比108.4%)
価格予測	900円(前年比102.9%、平年比96.4%)
市況予測※	上旬：↘(弱保合) 中旬：⇔(保合) 下旬：⇔(保合)
主産地の概況	千葉県；露地栽培が主体となる。出荷開始は平年より遅く、6月の出荷量は不作であった前年より多いものの、平年を下回る見込み。
	長崎県；露地栽培で、品種は茂木が主体となる。6月中旬以降は減少し、6月の出荷量は前年並の見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。
 ※：市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

II 花き情報

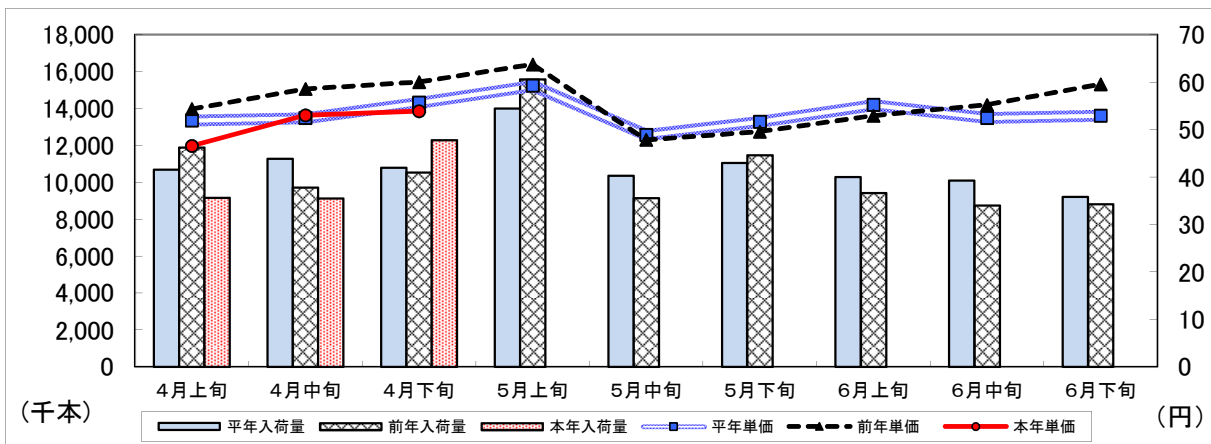
1 5月の経過（切花）

前年・平年に比べて入荷量は少なかったが、単価は下回った。

（1）販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	上旬は母の日需要に向けて増加したが、前年・平年をともに下回った。中旬になると入荷量は減少し、上旬と同様に前年・平年をともに下回った。
相場	入荷量は少なかったが引き合いも弱く、単価は前年・平年をともに下回った。
品目等	ヒマワリは入荷量が多く、単価は弱含んだ。また、菊類は葬儀等の業務向けの引き合いが弱く、相場は低調であった。

（2）入荷量と単価の経過〔㈱大田花き（切花）〕



（3）品目別経過

品目	経過	
カーネーション	世田谷花き	母の日以後に出荷量が増え、相場が崩れた。
	フラワーポート	母の日まではある程度の引き合いが見られたが、中旬からは大きな需要が無く、厳しい相場となった。
ヒマワリ	F A J	千葉産が中心。入荷量が多く例年になく厳しい相場となった。
	世田谷花き	千葉・佐賀・愛知産が中心。相場は低調であった。
トルコギキョウ	F A J	熊本・栃木・静岡産が中心。安定した相場での販売が続いた。
	フラワーポート	高冷地からの出荷が始まり安定した入荷となった。価格も大きな崩れはなく安定していた。

2 6月の見通し

品目	経過	
ヒマワリ	F A J	父の日に向けて、徐々に入荷量が増加していく。
	世田谷花き	北海道や東北からの出荷が本格化して入荷量は増える。単価は苦戦か。
トルコギキョウ	世田谷花き	熊本・茨城・栃木などの暖地の産地で2番花の出荷がピークを迎え、入荷量増える。
	フラワーポート	長野、群馬の一部の産地では、2月の雪害の影響で出荷量が減少する見込み。

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	H26.4月				累計（H26.4月）	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	26,372	174	92	110	26,372	174
だいこん	3,879	75	95	104	3,879	75
にんじん	1,532	131	104	81	1,532	131
はくさい	1,402	51	80	108	1,402	51
キャベツ	5,186	89	95	95	5,186	89
ねぎ	1,054	192	82	117	1,054	192
トマト	1,282	354	97	92	1,282	354
きゅうり	1,256	269	110	103	1,256	269
ばれいしょ	1,894	121	93	127	1,894	121
たまねぎ	2,017	127	72	181	2,017	127
レタス	1,048	168	106	88	1,048	168
果実	4,876	339	92	111	4,876	339
みかん	187	249	102	102	187	249
かき類	-	-	-	-	-	-
グレープフルーツ	247	192	77	113	247	192
なし類	-	-	-	-	-	-
ぶどう類	53	359	74	109	53	359
いちご類	655	865	101	101	655	865
すいか類	228	292	105	97	228	292
メロン類	151	462	83	117	151	462
バナナ	526	175	80	98	526	175
りんご	601	316	81	135	601	316
その他	304	166	103	98	304	166
青果物合計	31,552	199	92	109	31,552	199

2. 花き

単位：千本（鉢）、円/本（鉢）、%

品目	H26.4月				累計（H26.4月）	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	2,530	45	92	91	2,530	45
きく	798	50	86	104	798	50
バラ	103	67	68	103	103	67
カーネーション	320	36	107	81	320	36
枝物	49	100	111	91	49	100
鉢物	166	125	98	105	166	125
その他	3	195	75	154	3	195
花き合計	2,748	51	93	94	2,748	51

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。
 ※「-」は、数値の発表がないことを示す。

や っ ち ゃ ば 閑 話

「花の流通と消費を考える」

10 数年ぶりの大田市場勤務となった。前回とは農産物の流通事情は大きく変化しているが、特に変わったと感じたのが、花の流通・消費の勢いである。

前は、国産花きの産出額がピークの時代で、花市場は活気があり、母の日やお彼岸などの物日前には、仲卸の店頭で仕入れ客が多く行き交い、店では箱の片付けもままならないほど忙しくしていたこと思い出す。

しかし、その頃と比べると、今年の母の日の市場は、活気がなく感じた。

花は、マーケットが縮小している。依然として、市場経由率が8割を超え、首都圏の大型市場には荷が集まっているが、昨年は全国の花き卸全体の取扱額が過去20年で最低となるなど、市場にもその影響が現れている。

近年、生花店の販売額が減少する中、スーパーやホームセンターなど量販店が売上げを伸ばしており、ある卸によると、食品スーパーで花の仕入れが拡大していると言う。

また、某大手量販店では、自社で花売場を設け、花持ち保証をした販売を始め、販売店舗を増やす動きがある。

大田市場でも、花き卸が本年2月に新たに保冷庫を整備し、一層の鮮度管理の徹底を図っており、これからは、いかに鮮度の良さをアピールするかの勝負になってきた。

さて、今年5月の母の日花商戦は、市場では、昨年のような仕入れの盛り上がりはなかったものの、上旬は天候に恵まれ、花屋さんはずみずの売れ行きだったようで、母の日明けの12日は通常どおりの仕入風景であった。

花業界では、6月の父の日に向け、元気で明るいイメージの花として、ひまわりのアレンジや花束のギフトを盛り上げており、県内産地でも、市場と連携し、都内生花店で「ひまわりフェア」を開催する。

首都圏マーケティングセンターでは、このような、産地のマーケティング活動の支援を通じて、他県産地に負けないよう、「みんなで千葉県の花を売って行く」体制づくりを進めていきたい。



首都圏掲示板



夏の風物詩！千葉県産すいか続々入荷

東京都中央卸売市場大田市場では、千葉県産すいかの入荷量が日毎に増加しています。4月から入荷している小玉すいかに加えて、5月からは大玉すいかの入荷が開始。千葉県産の箱を卸売場で目にすることも多くなりました。

主要産地の大玉すいかがそろった5月19日には、東京青果(株)競売場で千葉県産大玉すいかの試食会が実施されました。さらに、「一果取り^{いっかど}」で有名なJA富里市西瓜部28支部が初入荷した26日にも試食会が行われ、今年も良食味の千葉県産すいかが入荷していることを買参人に印象付けました。



試食会では、すいかを切り始めると同時に買参人が押し寄せました。



JA富里市西瓜部28支部初入荷の際、競売場の見本棚には、同支部の大玉すいかがMAから5Lまでずらりと並びました。



ひまわりを首都圏でPR～西岬ひまわりフェア始まる～



J A 安房花卉部西岬支部ひまわり部会では、県・全農・卸売会社と連携して、毎年5月から6月にかけて都内の生花小売店でひまわりフェア開催しています。

今年初めてとなる5月18日の東京都江戸川区の小売店によるイベント会場でのフェアでは、売場であるテント前に、様々な種類のひまわりが華やかに並べられ、訪れたお客さんの目を引きつけていました。

今回で5年目となるこの取組。実施店舗数は、昨年の9店舗から24店舗に大きく増えるなど、年々広がりを見せています。

今年の母の日、小売店では販売好調？

花業界最大のイベントである母の日。都内でもいたるところで、プレゼントの花を買い求めるお客さんを見かけました。

今年の母の日は天候にも恵まれ、「昨年よりも売上を伸ばした小売店が多かった」という話を関係者から聞くことができました。

一方で、「来客数は多かったが一人あたりの購入金額は低かった」と話す小売業者もあり、「花以外のプレゼントと一緒に買う客も多く、花にお金をかけなくなっている」という声も聞かれました

